正しい対処で乗りきる 新型肺炎

デマで紙製品売り切れ 観光地あいついで休園

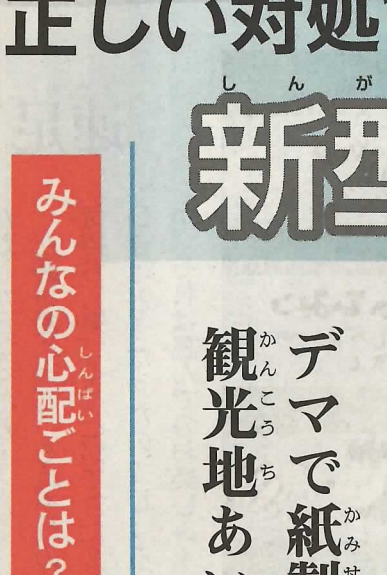
新型コロナウイルスの感染者が増えつづけています。2月28日、北海道の鈴木直道知事が「緊急事態宣言」を出し、道民に週末の外出をひかえるように呼びかけました。宣言の期間は3月19日までです。

北海道では2月27日から、小中学校と特別支援学校の計約1700校が休校しています。道内の感染者は計66人で全国最多（28日時点）。このまま感染者が増えると、感染症に対応できる病院でベッドの数が足りなくなるという心配もあります。

国民の生活にも影響が出ています。ここ数日、マスク以外にも、トイレットペーパーやティッシュペーパーが売り切れになる店が増えました。インターネットで「新型肺炎の影響で今後なくなる」などといったデマが広がったことが原因とみられます。業界団体や政府は「在庫は十分。冷静な行動を」と呼びかけました。

全国の娯楽施設で休園があいついでいます。東京ディズニーリゾート（千葉県浦安市）やユニバーサル・スタジオ・ジャパン（USJ、大阪市）などが、29日から臨時休園しました。

感染者は国内だけでなく、イラン、イタリア、韓国など世界各国でも増えています。世界保健機関（WHO）は28日、世界的な感染拡大や影響のリスクを「高い」から「非常に高い」に引き上げたと発表しました。



臨時休園初日、客のいない東京ディズニーランド＝千葉県浦安市、朝日新聞社ヘリから
©朝日新聞社

みんなの心配ごとは？

足りない授業 卒業式、お別れどうなるか…

どれもイラスト・ふじわらのりこ

春休みまで休校になるとしたら、心配なことはなんですか――。新型コロナウイルスの感染の広がりを防ぐため、政府が全国の小、中、高校と特別支援学校を臨時休校にするよう求めたことについて、朝小編集部は朝小リポーターに緊急アンケートをしました。100人以上から回答があり、授業のおくれや、卒業式などの行事がどうなるのかを心配する声がたくさんあがりました。（構成・中山仁）

「学年末のテストなどがどうなるのか」（群馬県・佐藤義倫さん・4年）、「6年生の授業が終わってなくて、中学の勉強についていけるのか」（神奈川県・山本優乃さん・6年）、「どのタイミングで補習をしてくれるのか」（兵庫県・時水千慧さん・4年）……。心配なこととして7割以上の人があげたのが、まだ終わっていない、今の学年の勉強のことです。

「来年度は6年生で、5年生の勉強がプラスされて授業時間が7時間になったら大変だな」（福岡県・中川絢心さん・5年）と、再開後への不安をこぼす人もいます。「通知表をもらえるかどうか」（東京都・西村聡太さん・3年）という声も複数ありました。

6年生のほとんどが心配するのが、卒業式ができるのかです。「卒業式の練習ができない。残り少ない友だちとの時間がなくなってしまう」（静岡県・匿名希望）など、どの声も切実です。「感謝の気持ちをこめて6年生を送りたかったのに、できないかもしれないと思うと悲しい」（東京都・阿世知瑠衣さん・5年）という下級生の声もあります。

「担任の先生へ最後にお礼の手紙をわたしたかったが、そのチャンスはあるのか」（千葉県・江藤歌海さん・3年）と、先生との別れを心配する人もいました。

家でどう過ごす？

勉強して読書、料理… 生活リズムを保つ

アンケートでは、休校になったら家でどのように過ごすかも聞きました。

「残しているドリルをやったり、家でお菓子作りをしたりする」（神奈川県・匿名希望・5年）、「勉強してから、家の中で遊ぶ」（大阪府・喜田裕太さん・6年）など、まずは勉強するという人が半数以上でした。

「ゆっくり過ごす。そのために、図書館で本をたくさんかりてきました」（東京都・根山愛理紗さん・2年）、「お料理やものづくりなど。本もいっぱい読みたいです」（大阪府・匿名希望・3年）など、この機会にまとめて読書をしたいという声も多いです。

「学校のリズムをくずさないように、午前中はドリルや漢字検定の勉強をして、午後は自由に過ごす」（東京都・石割大暉さん・1年）、「時間割を決めて勉強する」（宮城県・青山陽菜香さん・5年）、「早寝早起きして生活のリズムを整えて免疫力を保つ」（埼玉県・松本佳親さん・5年）など、生活習慣が乱れないように家族と話し合ったという声も目立ちました。

「母が仕事の時は妹の面倒をみる」（東京都・東田歩真さん・5年）という人もいます。

■臨時休校中 どうする？

臨時休校する学校が広がる中、朝日小学生新聞は、いま子どもたちが困っていることや休み中にしたいこと、病気について知りたいことなどを紙面でとりあげます。投稿フォーム＝下のURLか、右のQRコード＝からお答えください。答えた内容は紙面で紹介することがあります。

https://asagaku.com/corona-que.html